Year: 2015
Location: Nepal
Program: 住宅

ネパール復興住宅

ボランタリー・アーキテクツ・ネットワーク（VAN）＋坂茂建築設計では、2015年4月25日に発生したネパール地震(マグニチュード7.8)において被災者に住空間の提供を目的とした復興住宅の提案を行います。
モジュール化した木枠3ft x 7ft（90cm x 210cm）を連続させ、長手枠同士を間柱のように釘で固定し、その枠の中に倒壊したレンガを積んで壁を作り、必要な窓や扉を付けていく工法による、仮設とパーマネントを兼ねた住宅です。素人でも木枠で外壁フレームを素早く作ることができ、屋根を乗せ、木枠に仮のシートでも張れば住み始めることができます。そして住人が徐々に木枠の中にレンガを積んで自分で工事を完成することができます。最初のプロトタイプが首都カトマンズ市に2015年8月に完成しました。